

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 CL: 矢古宇、SL: 千賀、義間、上戸

2. 山城/ルート 赤岳

3. 交通手段 自家用車

4. 行動記録

<入山日 2017年2月10日(金)。 下山日 2017年2月12日(日)>

第1日 2月10日(金)

千賀さん宅発 21:15 → 西宮IC 21:30

第2日 2月11日(土)

諏訪湖SA着 2:00 → (車中仮眠) →

起床 7:00 諏訪湖SA発 8:15 → 赤岳山荘着 9:05 (準備)

赤岳山荘発 9:30 → 行者小屋着 12:45 テント設営

就寝 19:30?

第3日 2月12日(日)

起床 3:00 (準備) 行者小屋発 5:20 → (地蔵尾根)

→ 地蔵の頭着 6:50 → 赤岳展望荘? → 赤岳山頂着 7:45

→ (文三郎尾根) → 行者小屋着 9:05

テント撤収 行者小屋発 10:30 → 赤岳山荘着 12:30

赤岳山荘発 13:05 → 諏訪湖SA入浴・食事 → 千賀さん宅 19:15

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか?

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由

- ・行者小屋より、“普段は雪崩れない文三郎尾根は、前日、雪崩が発生した”という情報を得た。
- ・文三郎尾根を登りに、地蔵尾根を下りにというルート案もあったが、

b) 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか?

発生した場合、具体的に記す

- ・行者小屋までの間、上戸、矢古宇は指先の冷えを感じた。オーバー手袋を重ねることで対処した。

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか?

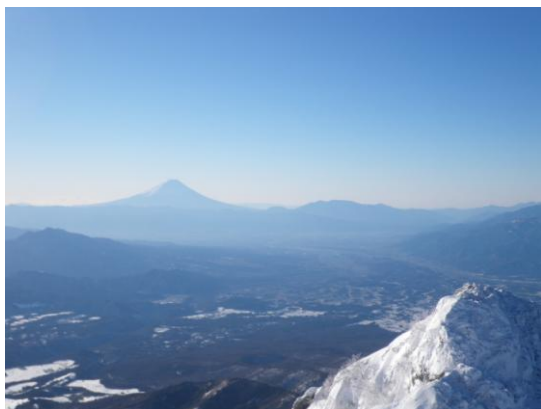
- ・特になし

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

- ・思った程の冷え込みもなく、お天気にも恵まれ、山行を楽しむことができた。
- ・美濃戸口～美濃戸まで車を入れた。美濃戸の駐車料金は1,000/日であり、美濃戸口の500円/日の倍であった。
- ・行者小屋はテント場の少し先に水場があり、雪を溶かす手間が無く、楽であった。

- ・テントの外は約 -10°C 、テント内は約 $+20^{\circ}\text{C}$ と（日射しとガスの影響？）、気温差約 30°C であった。
- ・トイレは2個室のみ、開放されていた。
- ・共同食は、炊きたてのご飯（無洗米3合）、鍋（2巡。具がたっぷり！）。炊飯も回数を重ね、美味しく炊けるようになってきている（炊飯担当：千賀）。
- ・満月であったため、月明かりが明るく、暗いうちからの行動であっても不安を感じなかった。
- ・気温が低いこともあり、矢古宇は指先の冷えが気になった（特に、ピッケル使用時）。
- ・地蔵尾根は、途中から岩場が所々に出ている斜面となり、アイゼン、ピッケルで確実に登った。地蔵の頭は風の通り道のため、少し向かいに降りたところで若干休憩の後、先に進んだ。
- ・赤岳展望荘～赤岳は、風はあるものの、思ったよりも登りやすかった。
- ・
- ・文三郎尾根は、ある程度の積雪量があり、危険を感じることなく下ることができた。
- ・冬山教室修了山行の硫黄岳に参加できなかった上戸さんの修了山行補講となったと思う。

報告者氏名：矢古宇靖子 2017年 4月 8日



遥かに望む富士山



赤岳に登頂した！

下山時に4人揃って(ちょっと暗い...)